



スモールステップ



3月号

今年は冬型の気圧配置が崩れ南岸低気圧が度々発生し、都内でも雪が降る日が多くなっています。東京は3月に大雪が降ることがあるので、注意が必要かもしれません。それでも季節は進み、暖かな日も訪れるようになってきています。早咲きの寒桜が見ごろを迎え、大井町駅から学校までの路上で、鮮やかなピンクの桜を見ることができ心をなごませてくれています。ソメイヨシノの開花予想も出て春がすぐそこまで来ていることを感じさせます。

この1年間、毎朝玄関に立ち、挨拶の活動に取り組んでまいりました。4月頃は、自分から挨拶してくれる児童・生徒はわずかでした。始業式、終業式等の機会に、自立と社会参加に向けて挨拶が大切なスキルになる事、コミュニケーションの第一歩になる事等をお話ししてきました。はじめは、言葉



としてきちんとさえなくても一声発するだけでも、声が出なくても目を合わせるだけでも、顔を見る事だけでも良いという事から説明し、時期が進むにつれ、立ち止まって、姿勢を正して、自分から挨拶することなどを1年間かけて段階をおって伝えてきました。先生方もあいさつの大切さや段階を理解してくださり、学校全体で取り組む雰囲気と環境ができあがりました。毎日の繰り返しは、何よりの積み重ねの機会となり、子供たちのあいさつはどんどん活発になって行きました。今では、私の前を歩いていくほぼすべての児童・生徒が一人で又先生と一緒にそれぞれの方法で朝のあいさつをしていきます。更には、私の1mほどの正面に立ち、気をつけの姿勢をとり、目を合わせ、「おはようございます」と言い、しっかりお辞儀をすることができる人も増えてきています。

子ども達の目を見張るような成長がうれしくて仕方ありません。「継続は力なり」毎日の小さな活動ですが、あいさつの活動は、これからも毎日続けていきましょう。

最後になりますが、この1年間新型コロナの影響で保護者の皆様には、様々なご心配、ご負担をおかけいたしました。そういった中でも本校の教育活動へのご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

校長 中山 啓